

動きが見どころ

友会が獅子舞の練習

町浦勝智那

ひ応援を」と呼び掛け、
聖春君は「緊張するけど、高いところは怖くない。」と意欲を見せた。

い。獅子舞はかっこいい。獅子舞はかっこいい。獅子舞はかっこいい。

(泉 真子)

大人への階段上り始めて

新宮市 城南中で立志式

新宮市立城南中学校
(中田善夫校長)で15日、
第41回立志式が行われた。1年生65人が無事成長できたことに感謝しつつ、立派な大人になるための決意を表明した。立志式は、14歳(数え年の15歳)で一人前の大人になったことを祝う「元服式」という行事に由来する。

中田校長は「将来の目標をこの時期で持っているのは、素晴らしい。まだ持っていないという人

も、大丈夫。今日の立志式をきっかけにして、一歩、大人への階段を上り始めてください」とあいさつ。生徒全員で誓いの言葉を唱和した。

城南中OBでもある亀山裕貴教諭が「今だからこそできること」を演題に講話。現在、同校1学年主任でサッカー部顧問の和谷征幸教諭のクラスで過ごした自身の学生時代や、サッカー部の話を中心に、仲間の大切さや

誓いの言葉を唱和し15日、新宮市立城南中学校



教師を目指したきっかけなどを語った。

「中学生の今だからこそできることは、本当の仲間をつくることだと思う。そのためには、泥くさいことも、悩むことも必要。そして何より、今いる場所と、そこにいる人を好きになることが必要です」と伝えた。

講演後は、生徒を代表し橋本幸佑さん、宮本麗

瑠さん、大槻虎生君、仮谷心さんが作文を発表した。和谷教諭が「人と熱く関わることは面倒くさいし、ときにはいらぬことも言わないといけないなど、泥くさい。しかし、それを乗り越えることができ、本当の仲間ができ、人間関係が結べるのではないかなと思う」と話した。

(森本晃介)